

受付番号：		2010-157	
研究課題名 新しい ERCP 後膵炎診断基準の検証			
研究期間	西暦	2009年 10月 (倫理委員会承認後) ~	2011年 3月
対象材料			
<input type="checkbox"/>	病理材料 (対象臓器名)	
<input type="checkbox"/>	生検材料 (対象臓器名)	
<input checked="" type="checkbox"/>	血液材料	<input type="checkbox"/>	遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (尿検体
上記材料の採取期間		西暦	2009年 10月 ~ 2011年 3月
意義、目的			
<p>1969年から ERCP (Endoscopic Retrograde CholangioPancreatography, 内視鏡的逆行性膵胆管造影) が臨床的に行われるようになって胆膵疾患の精密な検査が世界的に普及していった。近年、ERCP を用いた治療手技も広く臨床応用されている。ERCP の偶発症のひとつとして膵炎がある。ERCP 後膵炎については様々な問題があるがひとつにその診断基準が十分に検討されていないことがあげられる。今回、新しい ERCP 後膵炎診断基準案を作成した。この診断基準案が有効であるかどうかを多施設共同で検証する。</p>			
方法 膵胆道疾患等の診断・治療のために ERCP 施行予定で、ERCP 検査前に本研究への参加について同意した患者を対象とする。1)検査前、2)検査後3時間、3)翌朝、4)腹痛が生じた場合は随時、診察、血液、尿検査を行い、調査票に記入する。連結可能匿名化した上で、統計的に解析する。保険適応外の尿中トリプシノーゲン2測定、尿中 TAP 測定は、それぞれユニチカ(株)、オリエンタル酵母工業(株)からの無償提供による。研究計画の変更(評価項目の追加、尿中 TAP)に伴い、既に本研究に症例登録されており採取、保存されている尿検体でも TAP の測定を行う。			
問い合わせ・苦情等の窓口			
厚生労働省難治性疾患克服研究事業			
難治性膵疾患に関する調査			
研究代表者 下瀬川 徹 (事務局)			
東北大学大学院医学系研究科消化器病態学分野			
〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1番地1号			
TEL 022-717-7171			
FAX 022-717-7177			